

令和6年度 第3回医療系フォーラム実験小委員会 議事概要

- I. 日 時： 令和6年11月11日（月）18:00～20:00
II. 場 所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会
II. 出席者： 片岡主査、神原委員、原島委員、山元委員、中山委員、二瓶委員、井端事務局長、森下主幹
III. 資料

- ① 「ICT活用による分野横断型授業のビデオ紹介リーフレット（案）」

IV. 議事概要

1. ICT活用による分野横断型授業のビデオ紹介リーフレット（案）について

第2回委員会で検討した内容を踏まえて、各委員が作成した資料①「ICT活用による分野横断型授業のビデオ紹介リーフレット（案）」について、事務局から報告し検討し以下の修正を行った。

検討・修正内容

- ① タイトル、文中表現の統一

「分野横断型遠隔実験授業」、「多職種連携授業」、「分野横断型授業」の表現を統一し、「分野横断型授業」にすることにした。

- ② 3. プラットフォームとICT学修システムの修正

「学修システム(Google スライド、Zoom ホワイトボード)などを活用した」を「オンラインアプリケーション(Google スライド、Zoom ホワイトボード)などを活用した」に修正した。

- ③ 5. ファシリテーションの必基礎と工夫の修正

表現を「5. ファシリテーションの必要性和工夫」に修正した。

- ④ 6. 分野横断型多職種連携授業の成果と課題の修正

表現を「複数の分野の多角的な視点から問題を発見することができる」を「複数の分野の多角的な視点から健康医療における問題を発見することができる」に修正した

以上を踏まえて、以下の「ICT活用による分野横断型授業のビデオ紹介リーフレット」を作成した。

ICT活用による分野横断型実験授業のビデオ紹介
掲載URL：<https://www.juce.jp/medforum/experiment/>

公益社団法人私立大学情報教育協会
医療系フォーラム型実験小委員会

本協会の医療系フォーラム型実験小委員会では、これまで6年間に亘り研究・実験してきた「ICTを活用した分野横断による多職種連携教育の実験」を整理し、授業運営及び導入に向けたノウハウをビデオ化してWeb上に公表しましたので、参考にしていただきたくご案内します。

0. はじめに

ICT活用による分野横断型授業の研究と実験を6年間行った結果、新しい学びの成果が認められました。令和4年度改訂の医学教育モデル・コア・カリキュラムに多職種連携能力が取り上げられたことから、医療系の大学が多職種連携教育に取り組む一つの方法として参考にしていただきたく、授業の概要を紹介しています。(2分13秒)

1. 授業準備

ICT活用による分野横断型授業の準備について、手順・方法・工夫を以下の項目に沿って紹介しています。(7分45秒)

- (1) 授業プログラムの決定
- (2) 課題(シナリオ)の作成
- (3) 授業設計と学生用ガイドの作成

(4) ファシリテーター用ガイドの作成

2. 授業運営のポイントと工夫

ICT 活用による多職種連携授業の目標、進め方を学生用ガイドに明示し、自己主導型学修、プロブレママップ、ポートフォリオなどの事例を具体的に説明し、「なるほどこうやれば良いのか」と実感できるように、以下の項目に沿って紹介しています。(4分45秒)

- (1) 役割分担と共同編集可能なグループプロダクト
- (2) プロブレママップの活用
- (3) 評価(ルーブリック評価)について
- (4) 授業終了時の自己評価とフィードバック
- (5) 自己主導型学修を充実させるために
- (6) 学びを深めるためのリソース講義
- (7) ポートフォリオの活用

3. プラットフォームと ICT 学修システム

ICT を活用した遠隔授業のプラットフォーム、オンラインアプリケーション(Google スライド、Zoom ホワイトボード)などを活用した ICT 学修システムを具体的に紹介しています。

(5分8秒)

- (1) Google for education などのオンラインアプリケーションがあれば授業が可能
- (2) Google スライド・ドキュメントを使うことで、オンラインであってもグループディスカッションが可能
- (3) 同期型のネット授業は Zoom で実施し、非同期のネット授業は Line で実施
- (4) 学生用ガイドに、学修の進め方、プロダクト作成、提出物と提出期限などを詳細に記載
- (5) 上記のコンテンツを集約してオンライン授業を円滑に進める工夫

4. アイスブレイキングのポイント

ネット上で参加者の緊張をほぐし、授業の効果を高めるためのアイスブレイキングの工夫について、紹介しています。(6分26秒)

- (1) 学生同士が自分・相手を知るため短時間でできるプログラムの工夫
- (2) 学生の主体性を大切にし、チームで授業を進める役割分担の工夫
- (3) 課題の考察、ビデオの事前視聴などやるべきことを全員が確認・共有
- (4) 誰も否定しない、尊重できる雰囲気をつくる工夫
- (5) 教員もチームをサポートすることを伝え、いつでも相談できる工夫

5. ファシリテーションの必要性和工夫

ICT を用いたファシリテーションで心掛けることを紹介し、ファシリテーションで苦労したこと、良かったことなどのノウハウを紹介しています。(10分00秒)

- (1) ファシリテーションの必要性
- (2) ファシリテーションの工夫とポイント
- (3) ファシリテーションで苦労したこと

6. 分野横断型多職種連携授業の成果と課題

分野横断型多職種連携授業の成果として、自分の役割と専門性を位置づけて複数の分野の多角的な視点から健康医療における問題を発見することができるなど、学部別に行っている大学の授業では得られないような成果を紹介しています。また、課題としては、連携する大学の確保が難しいこと、学修時間の調整が必要なことなど大学組織としての支援が望まれることを紹介しています。

(10分08秒)

2. ICT 活用による分野横断型授業のビデオ紹介リーフレットの掲載について
作成したリーフレットは本協会のホームページに掲載し広く周知することにした。
3. 今後の予定について
本年度の委員会はこれで終了することにした。